NEWS from TOYOTA

平成6年5月10日
No.18

トヨタ、新コンパクト4WD RAV4（ラヴフォー） L（エル）、RAV4（ラヴフォー） J（ジェイ）を発売

―― 多様な用途に応える“フレキシブル ビークル”誕生 ――

トヨタ自動車㈱は、コンパクトサイズの新4WD「RAV4 L（Liberty）」ならびに「RAV4 J（Joyful）」を5月10日から全国一斉に発売した。

販売は、RAV4 Lを全国のトヨタカローラ店が、RAV4 Jを全国のトヨタオート店が行う。

RAV4 L、RAV4 Jは、海や山などはもちろんのこと、街乗りを楽しむ活動的な若者たちの多様なライフスタイルを演出するフレキシブル ビークル。

その開発テーマは「アウトドアでも、アーバンシーンでも、見て、乗って楽しいクルマ」。

具体的には次の3点を特長とする新しいタイプのRVである。

海や山にも、洗練された街並みにもフィットする
「アクティブでキュートなフォルム」。

2ℓエンジン、フルタイム4WD、新開発のサスペンションが生み出す
「オンロードでもオフロードでも楽しめる確かな走り」。

個性的な立体造形の室内空間と豊富なオプションパーツが演出する
「洒落たセンス」と「遊び心」。

また、リサイクルを考慮した無塗装樹脂部品を積極的に採用するなど、環境への配慮も充実させている。

※RAV4 : Recreational Active Vehicle 4wheel drive

RAV4 L E仕様［E-SXA10G-AZMGK(C)］
〈オプション装着車〉

RAV4 J E仕様［E-SXA10G-AZMGK(A)］
〈オプション装着車〉

トヨタ自動車株式会社　広報部／東京本社：03-3817-9111～6　本社：0565-23-1520～4　名古屋：052-952-3461～3　大阪：06-251-3300

森林資源保護のため再生紙を使用いたしました

【車両概要】

1．アクティブでキュートなフォルム

デザインは「見て楽しい」をテーマに大胆な曲線と個性的なラインで構成。
アウトドアシーンにも都会にもフィットする、アクティブでキュートなフォルムとしている。

▷全長3,695㎜、全幅1,695㎜、全高1,655㎜のワイドかつコンパクトなボデーを基本に、丸みを帯びたフロントから、大型のプロテクションモールを配したサイドを経て小気味良く跳ね上がったリヤへと続く、アクティブでキュートなフォルムを実現している。

▷外板色は、鮮やかなブルー、シックなグリーンをはじめワインレッド、ダークブルーと、フォルムを際立たせる全4色を設定している。

▷ルーフ部の前後をオープンできる開放感あふれるツインサンルーフを、全車にオプション設定。チルトおよび脱着が可能なサンルーフは、アルミニウム合金を使用することで重量を抑え、手軽に脱着できるものとしている。
また、ＲＶイメージをさらに盛り上げるバンパーガードをはじめ多彩なオプションを用意している。

2．オンロードでもオフロードでも楽しめる確かな走り

エンジン、シャシー、ボデーの基本コンポーネントの性能を高次元で融合させることによって、道を選ぶことなく、ドライブして楽しいパフォーマンスを実現している。

(1)　エンジン

▷低燃費と走りを両立した2ℓハイメカツインカムエンジン３Ｓ－ＦＥ型を搭載。低速域から中速域の実用域での豊かなトルクにより、街乗りでの扱いやすさとラフロードでのたくましいドライビングを実現している。

［３Ｓ－ＦＥ型エンジン主要諸元］

排気量 (cc)	最高出力 (PS/rpm)	最大トルク (kg・m/rpm)	10・15モード燃費 (km/ℓ)
1,998	135/6,000	18.5/4,400	12.6（M/T車）11.0（A/T車）

(2) シャシー

▷足廻りは、オンロード、オフロード双方での優れた走行性能を追求し、4輪独立懸架サスペンションを採用。フロントに、新設計のマクファーソンストラット式を、リヤには、トレーリングアームを使用した新開発のダブルウィッシュボーン式を採用し、16インチ専用マッド＆スノータイヤと相まって高い操縦性・走行安定性および優れた走破性、乗り心地を実現している。

▷マニュアル車用センターデフには、よりトラクションが必要な際に有効なメカニカルデフロック機構を装備。オートマチック車には、優れた走行性能、走破性を実現するため、よりきめ細かく、かつ強力な差動制限を可能にしたＥＣ－ハイマチックを採用している。

▷フロントブレーキには、耐フェード性に優れたベンチレーテッドディスクブレーキを採用。また、前後左右の加速度をリニアに検出し、コーナリング時でも4輪の制動力をバランス良く制御するＧセンサー付4輪ＡＢＳを、全車にオプション設定するなど、確かな制動性能を実現している。

(3) ボデー

▷モノコック構造のボデーは、最新のコンピューター構造解析を駆使するとともにボンネット、ドアをはじめ随所に高張力鋼板を使い、軽量、高剛性を実現。その結果、操舵に対する車体の俊敏な応答性を確保したほか、振動、騒音を低く抑えている。

3.「洒落たセンス」「遊び心」を演出する室内空間とオプション

扱いやすさを追求した室内空間は、個性的な造形を施し、楽しい世界を一層盛り上げている。また、100点以上におよぶオプションを設定し（販売店装着）、お客様の個性をアピールできる「洒落たセンス」「遊び心」あふれるオリジナルな仕様を楽しめるものとしている。

(1) 個性的な立体造形の室内空間

▷インストルメントパネルから左右へと流れるような造形の中に、視認性、操作性に優れた大型メーター、スイッチ、操作系を配置。ドアには、立体感を持たせた個性的な造形の機能部品を配し、アーバン感覚あふれる空間としている。またセンターコンソールおよび後席両サイドにカップホルダーを設置するなど、同乗者への配慮も充実させている。

▷シートは、特に乗り心地、ホールド性、乗降性などを人間工学に基づいて設計。シートの高さを最適に設定したほか、運転席の前後可動範囲を広くとった上で高い着座視点を確保し、比較的小柄な女性から背の高い男性まで、楽に乗り降りでき、運転しやすいものとしている。

▷リヤシートは、2分割、折り畳みなど多彩なシートアレンジを可能とし、また、フロントおよびリヤシートのフルリクライニング機構により、フルフラット化を可能にしている。

(2) お客様の個性で組み合わせる多彩な販売店装着オプション

▷アーバンユースには、脱着可能なバッグ感覚のアウトドアキャリーバッグやアンブレラホルダー、バックドアトリムポケットなどの利便性を向上させるツールのほか、アクティブでキュートなフォルムをドレスアップするドアサイドモールやスペアタイヤカバーなどを揃えている。

▷アウトドアでのＲＶユースには、フロントアンダープロテクター、サイドロッカーガード、リヤステップバーなどＲＶイメージを一層盛り上げるアイテムを設定したほか、小型室内テーブル、サイドタープ（簡易テント）などを用意している。

▷その他、ボデーカラーを一層際立たせる多彩なボデーストライプ、フロントビューを精悍に印象づけるフロントフードデフレクター、ラッゲージスペースと後席を仕切るネットとしても使用可能なラッゲージフレームシェルフなどを設定した。

4．安全、環境への配慮

クルマづくりの基本となる安全、環境への配慮についても多面的に取り組み、その徹底を図っている。

(1) 安全性の確保

▷予防安全

優れたシャシー性能がもたらす危険回避運動性能の確保に加え、全車にオプション設定したＧセンサー付4輪ＡＢＳ、リヤ“トルセン”ＬＳＤなど、様々な走行状態を想定した予防安全を徹底させている。

▷衝突安全

万一の衝突に対応し、ボデー前後部をクラッシャブルにすることに加えて、衝突の衝撃荷重をアンダーボデーを主体としたボデー骨格全体に効果的に分散させる合理的な衝撃吸収構造ＣＩＡＳ（サイアス）を採用し、客室の変形を最小限に抑えている。

運転席には、シートベルトの補助拘束装置であるＳＲＳエアバッグをオプション設定している。

(2) 環境への配慮

▷工程内で発生する樹脂端材などのリサイクルを行うとともに、バンパーなど主要樹脂部品の無塗装化、あるいは樹脂部品への材質表示を実施し、リサイクル容易化に配慮している。

また、エアコンに代替フロンの新冷媒ＨＦＣ134aを採用している。

【販売概要】

１．販売店	ＲＡＶ４　Ｌ	全国のトヨタカローラ店
	ＲＡＶ４　Ｊ	全国のトヨタオート店
２．月販目標台数	合計　２，０００台	
３．店頭発表会	５月14日(土)、15日(日)	

【メーカー希望小売価格】

▷お求めやすく、地域差のない（北海道、沖縄を除く）希望小売価格を設定した。

（消費税は含まず　単位：千円）

	エンジン	駆動方式	トランスミッション	価　格	
RAV4 L *E仕様	3S－FE	フルタイム4WD	5速マニュアル	1,598	◎
			ECT－S	1,727	
RAV4 L			5速マニュアル	1,769	
			ECT－S	1,898	
RAV4 J *E仕様			5速マニュアル	1,598	◎
			ECT－S	1,727	
RAV4 J			5速マニュアル	1,769	
			ECT－S	1,898	

・ＥＣＴ－Ｓ：電子制御式２ウェイＯＤ付４速フルオートマチック　◎掲載写真（除くオプション）

*エアコン・チルトステアリング非装着車

以　上